

学科	氏名	職名	学校名	派遣先	研修期間	研修内容
家庭	千葉一夫	教諭	若松商業高等学校	仙台スペースif	8月15日(休) ～8月22日(休)	マイクロ・コンピュータに関する実習
	小宅春夫	〃	郡山商業高等学校	〃	〃	〃
	宍戸葉子	〃	保原高等学校	福島文化専門学校	7月23日(月) ～7月28日(土)	洋裁の基礎縫い、ワンピース製作
	佐藤弥生	〃	小野・平田分校	〃	〃	〃
	根本恵子	〃	相馬農業高等学校	〃	〃	〃
	芳賀恵子	〃	船引高等学校	福島工業試験所	〃	染色に関する理論と実習
	佐加羅洋子	実習助手	若松女子高等学校	〃	〃	〃
農業	横山道夫	教諭	福島農蚕高等学校	福島県教育センター	7月16日(月) ～8月4日(土)	マイクロコンピュータプログラミング
	柴田宣広	〃	相馬農業高等学校	〃	〃	〃
工業	秋葉史裕	〃	二本松工業高等学校	〃	〃	〃
	八巻茂雄	〃	小高工業高等学校	〃	〃	〃
	川瀬勲	〃	会津工業高等学校	〃	〃	〃
商業	佐藤由広	〃	白河実業高等学校	〃	〃	〃
	秋元勝彦	〃	勿来高等学校	〃	〃	〃
	沢田隆久	〃	小名浜高等学校	〃	〃	〃
家庭	佐々木恵子	〃	白河実業高等学校	〃	〃	〃
	遊佐たか	〃	郡山女子高等学校	〃	〃	〃

## 8 定時制・通信制教育

### (1) 高等学校定時制・通信制教育研修会

#### ① 目的

定時制・通信制教育の諸問題について研究協議を行い、担当教員の資質の向上をめざすとともに、定時制・通信制教育の充実を図る。

#### ② 期 日 昭和59年6月14日(木)～6月16日(土)

#### ③ 会 場 福島県教育センター

#### ④ 参加者数 20名

#### ⑤ 研究内容

下記の内容について研究協議を行った。

##### ア 学習指導について

勤労青少年の学習意欲の高揚をはかるには、学習指導法をどのように改善したらよいか。

(特に少人数学級での個別化の試みの例を含める)

##### イ 生徒指導について

定時制通信制の当面する生徒指導上の諸問題に、どのように対処したら実効が期待できるか。

(生徒指導の具体的な事例も含める)

### (2) 定時制・通信制教育修学指導事業

#### ① 目的

この事業は、勤労青少年の重要性にかんがみ、勤労青少年に高等学校生活の意義を学ばせるとともに、生徒相互間、教師と生徒間の人間的接触を深めさせ学習意欲の向上を図るため、定時制課程及び通信制課程の生徒を対象に集団宿泊指導を行う。

#### ② 実施状況

##### ア 対象学年

1年生から4年生まで

##### イ 参加校及び参加生徒数

定時制10校 325名(参加率84.4%)

通信制2校 96名(参加率15.8%)

#### ウ 研修日程

2泊3日

#### エ 研修場所

○国立磐梯青年の家 ○福島県海浜青年の家

○南会津野外活動センター ○福島県民の森

## 9 学校訪問

### (1) 目的

各県立学校を訪問し、学習指導、生徒指導、進路指導、管理運営等の実態に接し、学校経営の充実を期するための諸問題について検討し、必要に応じて相談、助言、指導を行うことを目的とする。

### (2) 領域並びに観点

①教育課程 ②学習指導 ③生徒指導 ④進路指導

⑤現職教育 ⑥教職員の組織構成及び校務分掌等

⑦服務一般 ⑧施設設備、環境等 ⑨防火と事故防止

特に、今年度の重点目標の達成の度合や当面する諸問題に対応する方策等に主眼をおいて協議を極める。

### (3) 訪問校一覧

福島県立	福島農蚕高等学校	福島工業高等学校
〃	梁川高等学校	保原高等学校(全・定)
〃	郡山女子高等学校	須賀川女子高等学校
〃	長沼高等学校	岩瀬農業高等学校
〃	矢吹高等学校	白河高等学校
〃	白河実業高等学校	船引高等学校
〃	会津高等学校	若松商業高等学校
〃	喜多方商業高等学校	田島高等学校
〃	磐城女子高等学校	内郷高等学校
〃	湯本高等学校	磐城農業高等学校